

Religions for Peace



コンセプトノート

「戦争を超え、和解へ」 諸宗教平和円卓会議

第3回東京平和円卓会議

2025年7月1日～3日

背景

国際社会は今、紛争の激化と人道危機の深刻化に直面し、危機感と苦難にあえぐ人々がかつてないほどのレベルに達している。武力紛争が世界規模で急増し、2024年には政治的暴力の発生件数において25%もの増加がみられた。ウクライナ・ロシア、イスラエル・パレスチナ、レバノン、シリア、ミャンマー、スーダン、コンゴ民主共和国、ハイチなど、これらの地域で続く危機によって、地域社会の破壊や国家間の不安定さが浮き彫りになっている。このような紛争下で増え続ける犠牲者と人々の苦しみは、持続可能でこれまでにない新たな視点での平和構築への取り組みが、緊急に求められていることを強く訴えるものである。

世界的に人道支援の必要性は過去最高レベルに達し、約3億500万もの人々が緊急の支援と保護を必要としている。強制移住（避難）の規模も深刻さを増し、2024年半ばの時点で約1億2,300万人が住む場所を追われており、これは12年連続の増加となっている。また同年、紛争や暴力により7,210万人が国内避難民となり、特に女性、子ども、そして社会的に周縁化されたコミュニティが、激化する暴力、搾取、食料不安、人権侵害などの深刻な影響を受けている。

武力紛争、強制移住、食料不安、ジェンダーに基づく暴力、気候危機といった複合的に絡み合うこれらの危機には、協調的かつ包摂的な世界的対応が求められる。宗教や信仰のリーダーたちは、コミュニティにおける道徳的指導者として、また信頼できるよりどころとして、和解を促し、人間の尊厳を守り、持続可能な平和を築く上で、他にはない重要な役割を果たしている。政治指導者、宗教指導者、政策立案者、市民社会、そして政府間機関による協働の継続が、人類全体で繁栄を分かち合うというビジョンに向けた取り組み強化につながるのである。

このような背景のもと、「第3回東京平和円卓会議」は、宗教関係者、政策立案者、政治指導者が平和のために協働するメカニズムとして、前例のない世界的危機に直面する中、協力を促し、連帯して共同するという決意を固める重要なプラットフォームとなる。本円卓会議はWCRP/RfP国際委員会およびWCRP日本委員会が、国連文明の同盟（UNAOC）と協働して開催するもので、第1回・第2回東京平和円卓会議の成果を踏まえて、さまざまな宗教指導者、政策立案者、関係者を結集し、和解を促し、持続可能な平和への歩みを前進させる。ロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、そしてミャンマーでの紛争が続く中、東京平和円卓会議は、これらの地域からの参加者が、それぞれの地域社会における平和と安全保障への道筋を検討する機会を提供する。宗教間対話と協働による独自の強みを活かし、対話の道を切り拓き、人類が繁栄を共有するという未来を築くための足がかりとなることを目指す。

この取り組みをさらに深めるために、本円卓会議では、「心を開いて率直に語り、共感をもって傾聴すること」を促す「カウンスル（Council）」の原則を取り入れる。加えて、国内対話に関する特別セッションでは、特にミャンマーに焦点を当てながら、成功事例を紹介する。これらのセッションは、参加者が和解や紛争解決に向けた取り組みに適用できる理論的な枠組みと実践的な戦略の両方を提供するものである。

和解への基盤づくり：第1回および第2回東京平和円卓会議

2022年9月、WCRP/RfP (Religions for Peace) は、「戦争を超え、和解へ：諸宗教平和円卓会議」と題して第1回東京平和円卓会議を開催した。本円卓会議は、アフガニスタン、ブルキナファソ、コロンビア、コンゴ民主共和国、エチオピア、ミャンマー、ロシア、南スーダン、シリア、タイ、ウクライナといった国々の宗教指導者たちに、安全かつ安心して対話できる場を提供し、それぞれの紛争状況に基づいた社会的結束の構築や多様な和解の取り組みに関する実践的な事例を共有することをねらいとしていた。これらの議論は、「対話、協力、そして赦しと和解・癒しを促す取り組みを通じて、戦争によって引き裂かれた地域社会を立て直す」といった参加者たちの強い決意が語られた画期的な声明の発表へと結実した。

第1回会議で醸成された機運を基に、2024年2月に開催された第2回東京平和円卓会議では、コロンビア、ハイチ、インド、イスラエル、日本、ケニア、マリ、ミャンマー、パレスチナ、ペルー、ロシア、スペイン、トルコ、ウクライナ、アメリカ合衆国から宗教指導者が一堂に会し、信頼の構築、分断の癒し、赦しの促進、そして和解への道を探るために対話を重ねた。諸宗教による平和へのビジョンに共鳴した参加者たちは、公式声明を採択し、戦争と暴力を非難するとともに、人道支援が政治的な立場に左右されないよう求め、すべての人間の尊厳と生命の神聖さを強く訴えた。

第3回東京平和円卓会議

これらの課題が依然として続き、諸宗教間の継続的な協力が緊急に求められる中、WCRP/RfP (Religions for Peace) は、2025年6月30日～7月4日に「第3回東京平和円卓会議」を開催する。第1回・第2回会議の成功を踏まえ、本円卓会議では、対話をさらに深め、持続可能なパートナーシップを育み、ロシア・ウクライナ、パレスチナ・イスラエル、ミャンマーにおける紛争の根本原因に対処するための実行可能な戦略の推進を目指す。

本円卓会議における重要な転換点の一つは、「東京平和プロセス」の制度化である。このプロセスは、和平交渉、紛争後の和解、予防、そして長期的な平和構築といった、紛争のあらゆる段階に対処するため、持続的かつ協調的な諸宗教間の対話と外交の枠組み構築をねらいとした取り組みである。

WCRP/RfP (Religions for Peace) は、「東京平和プロセス」を通じて、以下のことを目指す。

- 紛争地域や紛争国の宗教指導者を招き、和解の促進に向けた宗教間対話を行う「和解の枠組み」を構築する。
- 世界各地の諸宗教協力の取り組みから得られた主要な学び、考察、知見を取り入れ、地域的および国境を越えた紛争に効果的に対応する。
- 紛争予防と持続可能な平和に重点を置きながら、諸宗教間の対話と協力を通じて紛争のサイクルに取り組む戦略的アプローチを推進する。
- 紛争影響地域における和解の促進と長期的な平和構築を実現するため、必要なリソースを連携して調達・活用するためのパートナーシップを強化する。

世界で最も歴史があり、かつ最も代表的な諸宗教指導者のプラットフォームである WCRP/RfP (Religions for Peace) は、50年以上にわたって調停と和解の取り組み、宗教間対話と協力、そして諸宗教による極めて重要な支援活動を、約100カ国における諸宗教評議会、女性宗教者ネットワーク、諸宗教青年ネットワークを通じて行ってきた。WCRP/RfP (Religions for Peace) は宗教機関や信仰に基づく組織のみならず、宗教的背景を持たない市民社会組織、政策立案者、政府機関および政府間機関とも連携して共通の取り組みを推進することにより、持続的な協力と平和構築を促進するという独自の役割を果たしてきた。このような背景から、WCRP/RfP国際委員会およびWCRP日本委員会は、国連文明の同盟 (UNAOC) と協働して、アジア宗教者平和会議、WCRPジャパン・ストラスティーズ、国際IC日本協会の後援を受け、これまでの円卓会議で築き上げた基盤を活用し、東京平和プロセスを制度化することを目指している。

第3回東京平和円卓会議：目的と成果

1. WCRP/RfP国際委員会およびWCRP日本委員会は、さまざまな宗教指導者に加えて政策立案者や専門家を招集し、以下の目的を掲げて第3回東京平和円卓会議を開催する。
2. 第2回東京平和円卓会議で確認されたコミットメントと進捗状況を振り返り、その達成の障害となる要因を特定し、それらを克服するために必要な行動を明確にする。
3. 紛争の影響を受けている国々の宗教指導者間の信頼と相互理解を深め、諸宗教による和解の取り組み強化につながる協働しやすい環境を醸成する。
4. 和解を促し、平和への共通のコミットメントを前進させるために、各宗教伝統の中心的理念に根ざした有意義な対話を推し進める。
5. 政治指導者や政策立案者と共に諸宗教協力を推進し、草の根レベルでの平和構築活動を支援することで、地域社会を巻き込んだ人道的対応、紛争予防、和解の取り組みを促す。
6. 政策立案者、政府間機関、市民社会との連携を強化し、平和構築の取り組みの影響力と実効性を高める。

その結果として、第3回東京平和円卓会議は、以下の点において直接的な貢献を果たすことになる。

1. これまでの円卓会議で表明されたコミットメントの実施を確実にし、平和構築に向けた意義のある進展を図る。
2. 紛争影響地域における、諸宗教による平和構築に向けた柔軟かつ拡張可能なモデルを開発する。
3. 紛争や暴力の影響を受けたさまざまなコミュニティ間の信頼と結束を深める。
4. 宗教指導者が持つ道徳的権威と独自の能力を活用し、紛争影響地域における平和構築の推進と持続可能な平和への提言を強化する。

関連リンク

第2回東京平和円卓会議（2024年）文書

- [第2回東京平和円卓会議 プレスリリース（2024年）](#)
- [第2回東京平和円卓会議 声明（2024年）](#)

第1回東京平和円卓会議（2022年）文書

- [第1回東京平和円卓会議 プレスリリース（2022年）](#)
- [第1回東京平和円卓会議 報告書（2022年）](#)
- [第1回東京平和円卓会議 声明（2022年）](#)

Religions for Peace の出版物および資料

- [Religions for Peace: The Global Movement Through Impact](#)
- [Faithful Peace: Why the Journey to Build Resilience is Multi-Religious](#)
- [Religions for Peace 諸宗教人道支援基金](#)